

環境厚生委員会資料

病 院 局
令和7年3月6日・7日

■ 条例案 2件

- 第48号議案 島根県病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例
について . . . 1
- 第49号議案 島根県病院局職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部
を改正する条例について . . . 2

■ 予算案 2件

- 第17号議案 令和7年度島根県病院事業会計予算 . . . 3
- 第72号議案 令和6年度島根県病院事業会計補正予算（第4号） . . . 9

■ 報告事項 2件

- 1 県立病院の診療費に係る債権の放棄について . . . 11
- 2 島根県特定事業主行動計画の改定について . . . 12

【別冊資料】

島根県特定事業主行動計画（第2期）（案）

「島根県病院事業の設置等に関する条例」の一部を改正する条例

1 改正理由

県立中央病院における病床数の見直しに伴い、所要の改正を行う必要がある。

※中央病院経営改善実行プラン「病棟再編等によるスペースの有効活用」に記載

(1) 医療措置協定に基づく新興感染症エリアの整備（必要な病床の陰圧化）…①

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、令和 6 年 3 月に島根県と「新型インフルエンザ等感染症、指定感染症又は新感染症に係る医療を提供する体制の確保に必要な措置に関する協定（医療措置協定）」を締結。新興感染症等の発生時に県からの要請に基づき次の病床数の確保が必要。

流行感染初期（新興感染症等の発生の公表から 3 か月程度）：10 床

流行感染初期経過後（新興感染症等の発生の公表から 6 か月以内）：17 床

5 階小児病棟に新興感染症エリア（受入可能病床）を整備することにより、病院全体では現行の 8 床から 20 床へ増床。

- ・ 現行の 4 床室 2 室を 3 床室 2 室に変更し（一般▲ 2 床）、汚物処理室、シャワー室及び脱衣室を整備。【受入可能病床：+ 6 床】
- ・ 合わせて、現行の個室 6 室は全て陰圧化【受入可能病床：+ 6 床】

※今回整備した病床は、感染症拡大時ではない平時でも受入病床として利用

(2) 精神病床の稼働率が低いため、空きスペースの有効活用

病床の個室化…②

4 階精神病床の個室化ニーズの高まりや病床稼働率を踏まえ、現行の 4 床室 2 室を個室 4 室に変更。（精神▲ 4 床）

作業療法室の整備…③

直近の診療報酬改定においてリハビリの評価が高くなっているなど、患者回復のためリハビリのニーズが高まっている。一方で、病院内にリハビリのための作業療法室が不足していることから、精神病床の 4 床室 2 室を改修し、新たに作業療法室を整備。（精神▲ 8 床）

2 改正内容

①一般病床（小児病床）を 522 床から 520 床とする。

②精神病床を 40 床から 36 床とする。

③精神病床を 36 床から 28 床とする。

【工事期間】

①② 令和 6 年 11 月～令和 7 年 3 月

（各階が天井・床続きであることから、一体的に改修工事を実施）

③ 令和 7 年 4 月～令和 7 年 5 月

3 施行期日

①② 令和 7 年 4 月 1 日

③ 令和 7 年 6 月 1 日

島根県病院局職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例について

1 概要

人事委員会の勧告の趣旨を踏まえ、知事部局に準じて病院局職員の手当について所要の改正を行う。

2 改正内容

(1) 配偶者に係る扶養手当を廃止すること。

(2) 管理職員特別勤務手当の改正

管理職員が災害への対処その他の臨時又は緊急の必要により勤務をした場合に係る手当の支給対象時間帯の拡大

改正前	改正後
平日午前0時から午前5時までの間であって正規の勤務時間以外の時間に勤務した場合	平日午後10時から午前5時までの間であって正規の勤務時間以外の時間に勤務をした場合

(3) 定年前再任用短時間勤務職員及び暫定再任用職員に地域手当（医師及び歯科医師に対して支給するものに限る。）、住居手当、特地勤務手当及び特地勤務手当に準ずる手当を支給すること。

(4) 扶養手当に関する経過措置

令和7年4月1日から令和8年3月31日までの間における扶養手当については、職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例に規定する額を基準として管理者が定めるものとする。

(5) その他規定の整備

3 施行期日

令和7年4月1日から施行する。

令和 7 年度島根県病院事業会計予算概要

1 中央病院

(1) 令和 7 年度当初予算の概要

- ・ 人事委員会勧告に伴う給与費の増、物価高騰等に伴う光熱費の高止まり、民間企業の賃上げに伴う委託費の増の影響により支出は大きく増加。
- ・ 一方、収入の大宗を占める診療費は、令和 6 年度診療報酬改定では人件費、物価高騰を反映しきれていない。
- ・ これらのために、単年度資金収支（現金の動きにのみ着目した収支）については大きな赤字となる見込み。
- ・ 運転資金の枯渇を防ぐため、令和 7 年度に新設される病院事業債（経営改善推進事業）を活用し借入を行い、経営改善の取組を進めるとともに、給与費、物価高騰への適正な対応を国に働きかけていく。

【参考 1】単年度資金収支・現金預金残高の状況

(単位：億円)

中央病院	R5 (決算)	R6.2 補正	R7 当初
単年度資金収支	△6.2	△13.9	△5.7
現金預金残高	21.4	7.5	1.9

R7 当初予算で運転資金として 5 億円借り入れ

【参考 2】病院事業債（経営改善推進事業）の概要

- ・ 借入期間…令和 7～9 年度までの 3 年間（令和 7 年度に創設）
- ・ 償還年限…15 年以内
- ・ 対象団体及び事業…資金不足が生じている、又は生じる見込みの病院事業であって、経営改善実行計画を策定し収支改善に取り組む公立病院

(2) 令和 7 年度の主な事業、取組

① 経営改善実行プラン 2025（今後の取組）

- ・ 令和 7 年度当初予算では、「経営改善実行プラン 2024」の取組の成果を踏まえ、患者数の増加や診療報酬単価の向上に向けた取組により医業収益は増加を見込んでいる。
- ・ 一方、人件費増、物価高騰による費用の増の影響が大きく、純損益は赤字（増収減益）と推計。
- ・ 単年度資金収支は大きく減少し、現金預金の期末残高が大幅に減少する見込み。
- ・ これを踏まえ、経営改善の取組を進めるため、「経営改善実行プラン 2025」を策定し、「診療報酬単価の向上に向けた取組」や「支出の見直し」、「地域の医療機関との連携強化」などの取組みにより、持続可能な病院経営を確保

② 主な事業、取組

- ・ 地域への貢献…看護師、薬剤師（R8 予定）を人手不足の深刻な離島や中山間地域へ派遣
- ・ 機器の更新

高額医療機器…がん治療で使用する放射線治療機器の更新 9.37 億円

院内通信システム…PHS の老朽化に伴うスマートフォンへの更新及び関連するナースコールの更新等 4.37 億円

(3) 予算総括表

令和7年度島根県病院事業会計予算
(当初予算)

1. 県立中央病院

(単位:千円)

科 目	R7年度 当初	R6年度 当初	比 較	概 要																																
(収益的収入及び支出)																																				
1 中央病院事業収益	22,122,887	21,332,635	790,252																																	
2 医業収益	19,304,357	18,599,692	704,665																																	
3 うち入院収益	13,286,147	13,090,725	195,422	<table border="1"> <tr><td>中央病院</td><td>R7当初</td><td>R6当初</td><td>比較</td></tr> <tr><td>延べ患者数(人)</td><td>166,075</td><td>164,250</td><td>1,825</td></tr> <tr><td>1日患者数(人/日)</td><td>455</td><td>450</td><td>5</td></tr> <tr><td>診療単価(円)</td><td>80,000</td><td>79,700</td><td>300</td></tr> </table>	中央病院	R7当初	R6当初	比較	延べ患者数(人)	166,075	164,250	1,825	1日患者数(人/日)	455	450	5	診療単価(円)	80,000	79,700	300																
中央病院	R7当初	R6当初	比較																																	
延べ患者数(人)	166,075	164,250	1,825																																	
1日患者数(人/日)	455	450	5																																	
診療単価(円)	80,000	79,700	300																																	
4 うち外来収益	4,857,604	4,356,261	501,343	<table border="1"> <tr><td>延べ患者数(人)</td><td>220,800</td><td>221,130</td><td>▲ 330</td></tr> <tr><td>1日患者数(人/日)</td><td>920</td><td>910</td><td>10</td></tr> <tr><td>診療単価(円)</td><td>22,000</td><td>19,700</td><td>2,300</td></tr> </table>	延べ患者数(人)	220,800	221,130	▲ 330	1日患者数(人/日)	920	910	10	診療単価(円)	22,000	19,700	2,300																				
延べ患者数(人)	220,800	221,130	▲ 330																																	
1日患者数(人/日)	920	910	10																																	
診療単価(円)	22,000	19,700	2,300																																	
5 うち一般会計負担金	811,851	808,828	3,023																																	
6 医業外収益	2,818,530	2,732,943	85,587																																	
7 うち一般会計負担金	1,384,117	1,249,945	134,172																																	
8 うち長期前受金戻入	930,297	960,725	▲ 30,428																																	
9 中央病院事業費用	22,684,689	21,870,613	814,076	うち病院局本局予算 177,607千円																																
10 医業費用	21,935,837	21,102,772	833,065	職員数(人)																																
11 うち給与費(除:退職給付費)	10,745,634	10,049,760	695,874	<table border="1"> <tr><td></td><td>R7当初</td><td>R6当初</td><td>比較</td></tr> <tr><td>特別</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td></tr> <tr><td>医師</td><td>141</td><td>133</td><td>8</td></tr> <tr><td>看護</td><td>671</td><td>677</td><td>▲ 6</td></tr> <tr><td>医技</td><td>199</td><td>191</td><td>8</td></tr> <tr><td>行政</td><td>71</td><td>66</td><td>5</td></tr> <tr><td>会計</td><td>258</td><td>260</td><td>▲ 2</td></tr> <tr><td>計</td><td>1,341</td><td>1,328</td><td>13</td></tr> </table>		R7当初	R6当初	比較	特別	1	1	0	医師	141	133	8	看護	671	677	▲ 6	医技	199	191	8	行政	71	66	5	会計	258	260	▲ 2	計	1,341	1,328	13
	R7当初	R6当初	比較																																	
特別	1	1	0																																	
医師	141	133	8																																	
看護	671	677	▲ 6																																	
医技	199	191	8																																	
行政	71	66	5																																	
会計	258	260	▲ 2																																	
計	1,341	1,328	13																																	
12 うち退職給付費	182,763	237,238	▲ 54,475																																	
13 うち薬品費	2,971,908	2,758,906	213,002																																	
14 うち診療材料費	2,128,550	2,102,818	25,732																																	
15 うち経費	4,276,327	4,283,150	▲ 6,823	※病院局本局職員を含む																																
16 うち減価償却費	1,357,128	1,421,240	▲ 64,112																																	
17 医業外費用	718,852	737,841	▲ 18,989	企業債利息の減																																
18 特別損失	20,000	20,000	0																																	
19 予備費	10,000	10,000	0																																	
20 損 益	▲ 561,802	▲ 537,978	▲ 23,824																																	
21 企業債	500,000	0	500,000																																	
(資本的収入及び支出)																																				
22 中央病院資本的収入	4,416,408	3,864,521	551,887																																	
23 企業債	3,055,300	2,299,700	755,600																																	
24 一般会計負担金	1,360,555	1,564,821	▲ 204,266																																	
25 他会計補助金	553	0	553	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金の増																																
26 中央病院資本的支出	5,528,882	5,358,398	170,484	建設改良(主なもの)																																
27 建設改良費	3,055,926	2,299,805	756,121	・高額機器(放射線治療システム)937百万円 ・PHS更新工事 437百万円																																
28 企業債償還金	2,272,956	2,558,593	▲ 285,637	元金償還金(元金均等償還分)の減																																
29 長期借入金償還金	200,000	500,000	▲ 300,000	こころの医療センターからの借入金償還																																
30 資本的収支	▲ 1,112,474	▲ 1,493,877	381,403																																	
31 単年度資金収支	▲ 566,279	▲ 1,429,117	862,838																																	

(参考資料)

一般会計負担金の内訳(令和7年度当初)

(中央病院)

(単位:千円)

区 分		R7年度 当初	R6年度 当初	比 較	備 考	
1 2 3 4 5	医 業 收 益	看護師確保養成事業経費	67,244	63,054	4,190	
		救急医療確保経費	599,103	622,158	▲ 23,055	特定入院料収入の増ほか
		保健衛生行政経費	145,504	123,616	21,888	隠岐島前病院への看護師派遣経費の増ほか
		小計	811,851	808,828	3,023	
		計	811,851	808,828	3,023	
6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18	医 業 的 收 入	高度な医療に要する経費	320,700	247,996	72,704	高額医療機器の更新、人件費の増ほか
		特殊な医療に要する経費	353,664	333,217	20,447	人件費の増(ICU、精神医療)
		感染症医療に要する経費	27,514	28,436	▲ 922	
		医師等の研究研修に要する経費	44,910	40,830	4,080	
		小計	746,788	650,479	96,309	
		企業債利息	64,975	83,638	▲ 18,663	企業債利息の減(病院建設利子分)
		基礎年金拠出金負担金	281,097	259,784	21,313	会計年度任用職員分の増
		共済追加費用負担金	94,816	115,471	▲ 20,655	負担率の減
		児童手当	115,143	66,082	49,061	制度改正による増(支給対象者の拡充)
		院内保育所運営経費	44,126	40,991	3,135	
16 17 18	益	医師確保対策経費	36,372	32,700	3,672	
		ふるさと島根基金(患者サービス向上に係る環境整備)	800	800	0	ふるさと島根寄附金充当事業採択額
		計	1,384,117	1,249,945	134,172	
収益的収入計(ア)		2,195,968	2,058,773	137,195		
20 21	資 本 的 收 入	企業債償還金	1,360,555	1,564,821	▲ 204,266	企業債償還の減(病院建設元利分)
		資本的収入計(イ)	1,360,555	1,564,821	▲ 204,266	
22 総 計(ア+イ)		3,556,523	3,623,594	▲ 67,071		

◆補 足

○R6当初:収益的収入に係る基礎数値は、R2決算～R4決算等を基に算出。(企業債利息除く)

○R7当初:収益的収入に係る基礎数値は、R3決算～R5決算等を基に算出。(企業債利息除く)

2 こころの医療センター

(1) 令和7年度当初予算の概要

- ・ 人事委員会勧告に伴う給与費の増、民間企業の賃上げに伴う委託料（PFI 以外）や賃借料の増等の影響により支出は大きく増加。
- ・ 一方、収入の大宗を占める診療費は、令和6年度診療報酬改定では人件費、物価高騰を反映しきれていない。
- ・ これらのために、単年度資金収支（現金の動きにのみ着目した収支）については中央病院からの返還金2億円を充当しても赤字となる見込み。

（貸付金の返還：変更前…R6年度5億円 ⇒ 変更後…R6年度3億円、R7年度2億円）

- ・ 運転資金の枯渇を防ぐため、経営改善実行プランに基づき経営改善の取組を進めるとともに、中央病院と同じく給与費、物価高騰への適正な対応を国に働きかけていく。

【参考1】 単年度資金収支・現金預金残高の状況

（単位：億円）

こころC	R5（決算）	R6.2 補正	R7 当初
単年度資金収支	△2.3	△0.9	△2.2
現金預金残高	3.8	2.8	0.7

(2) 令和7年度の主な事業、取組

① 経営改善実行プラン（今後の取組）

- ・ 中央病院と同じく、人件費増、物価高騰による費用の増の影響が大きく、純損益は赤字（増収減益）と推計。
- ・ 令和7年度当初予算では、令和6年度策定の「経営改善実行プラン」に基づき、持続可能な医療提供体制の確保に向け経営改善に取り組む。

② 主な事業、取組

・ 患者増への取組

- ア 外来ファーストコール体制を強化し、緊急受診を柔軟に対応する。
- イ 緊急患者の増加は入院患者の増加に繋がるため、断らない体制を作り、他の医療機関から紹介が得られることを目指す。
- ウ m-ECT（修正型電気けいれん療法）について、ホームページ、学会等を通じて広報を行う。

・ 機器の更新等

栄養給食管理システム更新…	14.3 百万円
食器・トレイ洗浄機更新…	9.9 百万円
調剤支援システム更新…	5.5 百万円

(3) 予算総括表

令和7年度島根県病院事業会計予算 (当初予算)

2. 県立こころの医療センター

(単位:千円)

科 目	R7年度 当初	R6年度 当初	比 較	概 要		
(収益的収入及び支出)						
1	こころの医療センター事業収益	2,783,517	2,688,327	95,190		
2	医業収益	1,667,165	1,606,213	60,952	こころ	
3	うち入院収益	1,407,148	1,326,250	80,898	入院	
4	うち外来収益	195,177	210,082	▲ 14,905		延べ患者数(人) 55,115 59,130 ▲ 4,015
5	うち一般会計負担金	52,148	59,948	▲ 7,800		1日患者数(人/日) 151 162 ▲ 11
6	医業外収益	1,001,385	972,324	29,061	外来	
7	うち一般会計負担金	788,630	784,936	3,694		診療単価(円) 26,064 22,322 3,742
8	うち長期前受金戻入	134,196	113,090	21,106		延べ患者数(人) 25,168 25,758 ▲ 590
9	特別利益	114,967	109,790	5,177	1日患者数(人/日) 104 106 ▲ 2	
10	こころの医療センター事業費用	3,084,182	2,942,970	141,212	うち病院局本局予算 9,419千円	
11	医業費用	2,954,544	2,814,626	139,918	職員数(人)	
12	うち給与費(除:退職給付費)	1,905,740	1,773,692	132,048	R7当初 R6当初 比較	
13	うち退職給付費	58,538	58,716	▲ 178	医師 15 13 2	
14	うち薬品費	111,165	112,731	▲ 1,566	看護 131 130 1	
15	うち診療材料費	19,228	19,972	▲ 744	医技 11 12 ▲ 1	
16	うち経費	663,577	663,674	▲ 97	行政 23 23 0	
17	うち減価償却費	163,591	161,230	2,361	会計 56 54 2	
18	医業外費用	125,638	124,344	1,294	計 236 232 4	
19	特別損失	1,000	1,000	0	※ 病院局本局職員は0名	
20	予備費	3,000	3,000	0		
21	損 益	▲ 300,665	▲ 254,643	▲ 46,022		
(資本的収入及び支出)						
22	こころの医療センター資本的収入	482,029	801,011	▲ 318,982		
23	企業債	36,700	59,500	▲ 22,800		
24	一般会計負担金	244,950	238,817	6,133		
25	その他資本的収入	200,379	502,694	▲ 302,315	中央病院への貸付金の返還額変更等	
26	こころの医療センター資本的支出	316,366	330,617	▲ 14,251	建設改良(主なもの)	
27	うち建設改良費	40,816	63,706	▲ 22,890	・栄養給食管理システム 14百万円	
28	うち企業債償還金	275,550	266,911	8,639	・食器・トレイ洗浄機(ガス式)更新 10百万円	
28	うち投資	0	0	0	・蓄電池・バッテリー更新 7百万円	
29	資本的収支	165,663	470,394	▲ 304,731		
30	単年度資金収支	▲ 216,574	158,101	▲ 374,675		

(参考資料)

一般会計負担金の内訳(令和7年度当初)

(こころの医療センター)

(単位:千円)

区 分			R7年度 当初	R6年度 当初	比 較	備 考
1	医 業 收 益	看護師確保養成事業経費	23,027	33,331	▲ 10,304	看護実習経費の減(受入日数の減)
2		救急医療確保経費	0	0	0	該当なし
3		保健衛生行政経費	29,121	26,617	2,504	委員会等協力に係る職員人件費の増及び従事時間数の増
4		小計	52,148	59,948	▲ 7,800	
5	計		52,148	59,948	▲ 7,800	
6	医 業 外 收 益	特殊な医療に要する経費	627,200	627,648	▲ 448	地財単価の減 (@2,800千円/床←@2,802千円/床)×224床
7		医師等の研究研修に要する経費	6,754	6,314	440	研究研修旅費及び研究雑費における人件費及び参加人数の増
8		小計	633,954	633,962	▲ 8	
9		企業債利息	61,994	65,834	▲ 3,840	償還の進展に伴う企業債利息分の減(元利均等償還分)
10		基礎年金拠出金負担金	50,503	45,978	4,525	会計年度任用職員分の増
11		共済追加費用負担金	16,433	19,551	▲ 3,118	負担率の減
12		児童手当	23,424	16,526	6,898	制度改正による増(支給対象者の拡充)
13	院内保育所運営経費	2,322	3,085	▲ 763	R5年度実績に基づく中央病院との按分負担割合の減(5%←7%)	
14	計		788,630	784,936	3,694	
15	収益的収入計(ア)		840,778	844,884	▲ 4,106	
16	資 本 的 收 入	建設改良費	297	693	▲ 396	対象事業の減
17		企業債償還金	244,653	238,124	6,529	償還の進展に伴う企業債元金分の増(元利均等償還分)
18	資本的収入計(イ)		244,950	238,817	6,133	
19	総 計(ア+イ)		1,085,728	1,083,701	2,027	

令和6年度島根県病院事業会計補正予算(第4号)
(2月補正予算)

1. 県立中央病院

(単位:千円)

科 目	補正前	補正額	補正後	概 要																
(収益的収入及び支出)																				
1 中央病院事業収益	21,321,665	8,854	21,330,519																	
2 医業収益	18,599,692	221,942	18,821,634																	
3 うち入院収益	13,090,725	▲ 115,327	12,975,398	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>R6当初</td> <td>R6見込</td> <td>比較</td> </tr> <tr> <td>延べ患者数(人)</td> <td>164,250</td> <td>160,348</td> <td>▲ 3,902</td> </tr> <tr> <td>1日患者数(人/日)</td> <td>450</td> <td>439</td> <td>▲ 11</td> </tr> <tr> <td>診療単価(円)</td> <td>79,700</td> <td>80,920</td> <td>1,220</td> </tr> </table>		R6当初	R6見込	比較	延べ患者数(人)	164,250	160,348	▲ 3,902	1日患者数(人/日)	450	439	▲ 11	診療単価(円)	79,700	80,920	1,220
	R6当初	R6見込	比較																	
延べ患者数(人)	164,250	160,348	▲ 3,902																	
1日患者数(人/日)	450	439	▲ 11																	
診療単価(円)	79,700	80,920	1,220																	
4 うち外来収益	4,356,261	367,013	4,723,274	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>R6当初</td> <td>R6見込</td> <td>比較</td> </tr> <tr> <td>延べ患者数(人)</td> <td>221,130</td> <td>219,611</td> <td>▲ 1,519</td> </tr> <tr> <td>1日患者数(人/日)</td> <td>910</td> <td>904</td> <td>▲ 6</td> </tr> <tr> <td>診療単価(円)</td> <td>19,700</td> <td>21,507</td> <td>1,807</td> </tr> </table>		R6当初	R6見込	比較	延べ患者数(人)	221,130	219,611	▲ 1,519	1日患者数(人/日)	910	904	▲ 6	診療単価(円)	19,700	21,507	1,807
	R6当初	R6見込	比較																	
延べ患者数(人)	221,130	219,611	▲ 1,519																	
1日患者数(人/日)	910	904	▲ 6																	
診療単価(円)	19,700	21,507	1,807																	
5 うち一般会計負担金	808,828	3,717	812,545																	
6 医業外収益	2,721,973	▲ 213,088	2,508,885	(患者数・診療単価は、直近実績により推計)																
7 うち国庫補助金	20,009	1,324	21,333																	
8 うち他会計補助金	43,964	7,469	51,433																	
9 うち一般会計負担金	1,238,975	6,077	1,245,052																	
10 うち長期前受金戻入	960,725	▲ 76,503	884,222																	
11 うちその他	458,300	▲ 151,455	306,845	医療政策課付け併任医師の一般会計負担分の減																
12 特別利益	0	0	0																	
13 中央病院事業費用	22,427,978	164,916	22,592,894	うち病院局本局予算 183,128 千円																
14 医業費用	21,660,137	318,979	21,979,116																	
15 うち給与費(除:退職給付費)	10,599,300	110,290	10,709,590	時間外手当の増																
16 うち退職給付費	245,063	385,724	630,787	退職給付引当金繰入額の増																
17 うち薬品費	2,758,906	285,238	3,044,144	高額薬品の使用量増ほか																
18 うち診療材料費	2,102,818	▲ 44,482	2,058,336																	
19 うち経費	4,283,150	▲ 184,928	4,098,222	光熱水費、委託料の減ほか																
20 うち減価償却費	1,421,240	▲ 157,497	1,263,743																	
21 医業外費用	737,841	▲ 139,163	598,678	併任医師給与一般会計負担金の減ほか																
22 特別損失	20,000	▲ 4,900	15,100	過年度分損失(R2長期前払消費税償却等)ほか																
23 予備費	10,000	▲ 10,000	0																	
24 損 益	▲ 1,106,313	▲ 156,062	▲ 1,262,375																	
(資本的収入及び支出)																				
25 中央病院資本的収入	3,864,521	▲ 789,910	3,074,611																	
26 企業債	2,299,700	▲ 755,700	1,544,000	R6年度企業債借入の減																
27 一般会計負担金	1,564,821	▲ 78,553	1,486,268	R5年度企業債借入の減少に伴う償還金の減																
28 他会計補助金	0	44,343	44,343	新興感染症対応力強化施設設備整備費補助金の増																
29 中央病院資本的支出	5,358,398	▲ 1,068,391	4,290,007																	
30 建設改良費	2,299,805	▲ 711,284	1,588,521	長寿命化工事、省エネ・機能向上工事の執行減ほか																
31 企業債償還金	2,558,593	▲ 157,107	2,401,486	R5年度企業債借入の減少に伴う償還金の減																
32 長期借入金償還金	500,000	▲ 200,000	300,000	こころの医療センターからの借入金償還の減																
33 資本的収支	▲ 1,493,877	278,481	▲ 1,215,396																	
34 単年度資金収支	▲ 1,997,452	608,344	▲ 1,389,108																	

令和6年度島根県病院事業会計補正予算(第4号)
(2月補正予算)

2. 県立こころの医療センター

(単位:千円)

科 目	補正前	補正額	補正後	概 要																														
(収益的収入及び支出)																																		
1 こころの医療センター事業収益	2,685,529	2,211	2,687,740	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R6当初</th> <th>R6見込</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">入院</td> <td>延べ患者数(人)</td> <td>59,130</td> <td>54,062</td> <td>▲ 5,068</td> </tr> <tr> <td>1日患者数(人/日)</td> <td>162</td> <td>148</td> <td>▲ 14</td> </tr> <tr> <td>診療単価(円)</td> <td>22,322</td> <td>23,504</td> <td>1,182</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">外来</td> <td>延べ患者数(人)</td> <td>25,758</td> <td>24,755</td> <td>▲ 1,003</td> </tr> <tr> <td>1日患者数(人/日)</td> <td>106</td> <td>102</td> <td>▲ 4</td> </tr> <tr> <td>診療単価(円)</td> <td>8,156</td> <td>7,608</td> <td>▲ 548</td> </tr> </tbody> </table> <p>(患者数・診療単価は、直近実績により推計)</p>		R6当初	R6見込	比較	入院	延べ患者数(人)	59,130	54,062	▲ 5,068	1日患者数(人/日)	162	148	▲ 14	診療単価(円)	22,322	23,504	1,182	外来	延べ患者数(人)	25,758	24,755	▲ 1,003	1日患者数(人/日)	106	102	▲ 4	診療単価(円)	8,156	7,608	▲ 548
	R6当初	R6見込	比較																															
入院	延べ患者数(人)	59,130	54,062		▲ 5,068																													
	1日患者数(人/日)	162	148		▲ 14																													
	診療単価(円)	22,322	23,504		1,182																													
外来	延べ患者数(人)	25,758	24,755		▲ 1,003																													
	1日患者数(人/日)	106	102		▲ 4																													
	診療単価(円)	8,156	7,608		▲ 548																													
2 医業収益	1,606,213	▲ 81,372	1,524,841																															
3 うち入院収益	1,326,250	▲ 55,577	1,270,673																															
4 うち外来収益	210,082	▲ 21,754	188,328																															
5 うち一般会計負担金	59,948	▲ 7,314	52,634																															
6 医業外収益	969,526	85,128	1,054,654																															
7 うち一般会計負担金	782,138	4,373	786,511	児童手当に要する経費																														
8 うち長期前受金戻入	113,090	22,364	135,454																															
9 特別利益	109,790	▲ 1,545	108,245																															
10 こころの医療センター事業費用	2,989,304	59,760	3,049,064	うち病院局本局予算 9,088千円																														
11 医業費用	2,860,960	36,425	2,897,385																															
12 うち給与費(除:退職給付費)	1,817,742	▲ 27,577	1,790,165	職員数の減																														
13 うち退職給付費	61,000	72,708	133,708	退職給付引当金繰入額の増																														
14 うち薬品費	112,731	▲ 4,464	108,267																															
15 うち診療材料費	19,972	4,464	24,436																															
16 うち経費	663,674	▲ 22,521	641,153																															
17 うち減価償却費	161,230	3,594	164,824																															
18 医業外費用	124,344	23,335	147,679																															
19 特別損失	1,000	0	1,000																															
20 予備費	3,000	0	3,000																															
21 損 益	▲ 303,775	▲ 57,549	▲ 361,324																															
(資本的収入及び支出)																																		
22 こころの医療センター資本的収入	801,011	▲ 188,966	612,045																															
23 企業債	59,500	10,200	69,700	修繕・更新等による対象品目の増																														
24 一般会計負担金	238,817	36	238,853																															
25 その他資本的収入	502,694	▲ 199,202	303,492	中央病院への貸付金返還収入の減																														
26 こころの医療センター資本的支出	330,617	11,494	342,111																															
27 建設改良費	63,706	10,974	74,680	修繕・更新等による対象品目の増																														
28 企業債償還金	266,911	220	267,131																															
29 投資	0	300	300	収納金輸送業者への預託金(両替金原資)																														
30 資本的収支	470,394	▲ 200,460	269,934																															
31 単年度資金収支	108,969	▲ 201,835	▲ 92,866																															

県立病院の診療費に係る債権の放棄について

1. 概要

県立中央病院の診療費に係る債権のうち、総額 1,935,099 円（20 人、48 件）の債権を放棄することについて、地方自治法第 180 条の規定に基づき知事の専決処分（令和 7 年 1 月 8 日付）を行ったので、議会へ報告する。

2. 債権放棄一覧

項 目	人数	件数	金額（円）
債務者が存在しないもの	10	34	1,136,521
消滅時効期間経過かつ債務者行方不明で援用の見込みがないもの	6	9	92,229
破産法の規定により債務者が免責となったもの	1	2	319,979
債権金額が少額（1,000 円/件未満）でその債権の徴収に要する経費に満たないもの	2	2	1,260
弁済の見込みがないと認められる特段の事情があるもの	1	1	385,110
合 計	20	48	1,935,099

債権発生（調定）年度 平成 11 年度～令和 5 年度

島根県特定事業主行動計画の改定について

1 改定に至る背景

- ・ 現行の「すべての職員がいきいきと働き、能力を發揮できる職場づくり推進計画－島根県特定事業主行動計画－」は、次世代育成支援対策推進法（以下「次世代法」という。）及び女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（以下「女性活躍推進法」という。）に基づく一体の行動計画として、令和2年3月に策定
- ・ 現行の計画期間が今年度末で終了することから、この度、計画を改定し、第2期計画を策定

2 第2期計画の概要

(1) 計画期間

令和7年4月1日から令和13年3月31日までの6年間

(2) 内容

目指す姿を「男女ともにワーク・ライフ・バランスを実現し、その能力を伸ばし發揮して、いきいきと働くことができる職場」とし、以下の柱に沿って各種取組を実施

【取組の柱】

- ア 個々の能力を十分に發揮できる職場環境の実現
- イ 職員の人材育成・キャリア形成に向けた支援
- ウ 仕事と生活の両立に向けた環境の整備

3 現行計画からの主な変更点

- ・ 次世代法の改正に伴い、時間外労働等に関する数値目標設定が義務付けられたため、数値目標に「時間外勤務の状況」を新設
- ・ 現行の数値目標設置項目について、実績等を踏まえ、新たな数値目標を設定
- ・ 新たな数値目標（案）は、別紙のとおり

4 今後のスケジュール

- ・ 令和7年3月 第2期計画の決定
3月末 県ホームページでの公表、全職員への周知
- ・ 令和7年4月以降 改正後の次世代法及び女性活躍推進法に基づく行動計画策定指針を踏まえ、第2期計画について必要な見直しを実施

項目	対象	現行計画の 数値目標	直近の実績	新たな数値目標(案)
1 全警察官に占める 女性の割合	警察	10% (R6年度)	10.8% (R6年度)	12% (R12年度)
2 職員の管理職に 占める女性の割合	知事部局等 (※)	15% (R6年度)	16% (R6年度)	23% (R12年度)
3 初等中等教育機関の 教頭以上に占める 女性の割合	教育委員会 (教育職等)	15% (R6年度)	18% (R6年度)	25% (R12年度)
4 年次有給休暇の 年間平均取得日数	県全体	15日 (R6年)	知事部局等 14.3日(R5年) 教育委員会(教育職等) 12.3日(R4年) 警察 14.2日(R5年) 病院局 10.8日(R5年)	17日以上 (R12年)
5 男性職員の 育児休業取得率 取得期間の分布	知事部局等	30% (R6年度)	2週間以上 65.3% 1月以上 33.3% (R5年度)	2週間以上 85% 1月以上 42.5% (R12年度)
	教育委員会 (教育職等)		2週間以上 21.8% (R5年度)	
	警察		2週間以上 56.8% (R5年度)	
	病院局		2週間以上 23.5% (R5年度)	
6 男性の配偶者出産 休暇及び育児休業を 5日以上取得した 職員の割合	県全体	50% (R6年度)	53.5% (R5年度)	100% (R12年度)
7 時間外勤務の状況	知事部局等	-	-	月45時間超え職員数 R6年度実績より10%削減 (R12年度)
	教育委員会 (教育職等)	-	-	月45時間超え職員数 R5年度実績より50%削減 (R12年度)
	警察	-	-	月45時間超え職員数 R6年度実績より10%削減 (R12年度)
	病院局	-	-	月45時間超え職員数 R6年度実績より10%削減 ※医師については別途定める (R12年度)

(※) 知事部局等＝知事部局＋議会事務局＋各委員(会)事務局＋企業局＋教育委員会の職員(教育職等の職員以外)